

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

いわきの家

グループの名称

いわき家ナビ

直近採択グループ番号

04-0227-0133

(グループ代表者)

代表者名

大平 宏之

代表者印

代表者所属先

株式会社正木屋材木店

代表者所在地

福島県いわき市常磐下船尾町古内133

代表者電話番号

02-4643-6006

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社正木屋材木店

事務局担当者名

大平 宏之

印

事務局郵便番号

972-8312

事務局所在地

福島県いわき市常磐下船尾町古内133

事務局電話番号

02-4643-6006

事務局FAX

02-4643-6003

事務局担当者E-mail

masakiya7@gmail.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	いわきの家
2. グループの名称(必須)	いわき家ナビ
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0227-0133
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	福島県 茨城県
5. 結成年(必須)	2008 年
6. グループ代表者名(必須)	大平 宏之
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社正木屋材木店
8. グループ代表者所在地(必須)	福島県いわき市常磐下船尾町古内133
9. グループ代表者電話番号(必須)	02-4643-6006
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社正木屋材木店
11. グループ事務局担当者名(必須)	大平 宏之
12. グループ事務局郵便番号(必須)	972-8312
13. グループ事務局所在地(必須)	福島県いわき市常磐下船尾町古内133
14. グループ事務局電話番号(必須)	02-4643-6006
15. グループ事務局FAX番号(必須)	02-4643-6003
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	masakiya7@gmail.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	2	原木供給業者が海外事業者となる場合があり、その当該事業者を登録できない為
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	製材、集成材、合板事業者が海外事業者となる場合があり、その当該事業者を登録できない為
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	3	
V. 設計	8	
VI. 施工	21	
VII. 木材を扱わない流通	2	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	杉	福島県	県産木材証明制度(福島県)	1	国内
	桧	福島県	県産木材証明制度(福島県)	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		33	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	33	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	5	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		7	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		8	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
	申請が未確定(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	2棟				
			200㎡				
		申請が未確定	4棟				
			300㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	未経験施工者を優先的に1棟ずつ配分する。以降期間を決め、着工早い物件順に配分する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	23戸	交付申請戸数	22戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	7戸
	補正予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわきの家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 茨城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) いわき家ナビ	(結成年) 2008 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0227-0133	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	冬季の日射を考慮した断熱性能の確保。IV地域Ua値0.75/m <sup>2</sup> 以上の断熱設計を行う。個別に断熱計算を行い各住宅の省エネ性を最適化する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	南面に大きな開口を作り、2方向開口で通風に配慮した間取りとする。震災被災地である為、ハザードマップにて、周囲の被災状況を確認し特に地盤の状況をよく確認し建築する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	南面の軒の出を深くし、夏季の日射を遮り、冬季の日射の確保の可能なデザインとする。	○
④①～③の背景	当グループの所在地であるいわき市は、日照時間が長く温暖な地域である。特に冬季の日照時間がながく、この日照を活かした省エネで快適な性能を持つ住宅とする。また日照をうまく取り入れられるデザインとし、一年を通して快適に暮らせる住宅とする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	復興需要にて土地の値段が高騰している為、若い一時住宅取得者が、住宅を建てづらくなっている。若い一時取得者へターゲットを絞った安価で高性能なモデルプランをつくる。また資金計画、ファイナンシャルプランナーによる相談を行い、安心して住宅建築が行えるように、住宅相談窓口にて対応する。(現在毎月10組程度の新規相談者の対応を行なっている。)	◎

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材は樹種の限定を行っている。梁桁に使用する杉KD材は納期が長い為、寸法の規格化を行う。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱材に関し使用するメーカーや規格の統一を行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱施工の標準化及び断熱材の施工勉強会の実施。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱材及び水回りに関して共通仕様書及び施工向けのパンフレット(いわき家ナビバック)の作成を行う。又共同購入によるコスト削減を行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材のうち、納期の長い杉KD 梁桁材の在庫表の作成。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 年数回の施工に関する勉強会を実施する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施作 制度の情報収集及び勉強会の実施。(3回/年)	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅の性能確保に重要な役割を果たす断熱材の施工に関する勉強会の開催。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による地盤調査の実施。グループ内での検査勉強会の開催。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材に関する標準見積もり書及び標準単価表の作成。顧客への提示。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ専用ホームページに家づくりのプロセスや品質に関わる情報を掲載蓄積している。家づくり相談室(家サポ)を設置し専属担当者による相談会を毎月実施している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	復興需要による宅地の高騰により、住宅が建てづらくなってきている。その為安価なモデルプランを作成し普及を行う。また、長期優良住宅未経験工務店は受注力の低下により、新築住宅が取りにくくなってきている。当グループ相談窓口を活用しグループ内で設計者、施工工務店のマッチングを行い受注から長期優良住宅の施工までグループでバックアップする体制にする。またリフォーム案件の相談も多くなってきていることから長期優良リフォームの活用も検討する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわきの家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 茨城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いわき家ナビ	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0227-0133	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	各施工会社によって履歴情報の蓄積ルールが施工各社で統一されていない。グループ内での取り扱いルールを作成し、ルールに基づいたグループ内での運用を徹底する。		
①	住宅履歴情報の蓄積		◎
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報システムにデーター保管する。		◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関を利用する。		◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局がIDを管理し、情報の共有化をはかる。		○
②	メンテナンス基準の整備		
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画に基づき定期点検を実施する。		◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 箇所に応じて共通ルールを検討する。		◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて点検時期の管理、施工者へ連絡。		◎
③	住まいの管理		
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一回施主向け勉強会の実施。		◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一回施主向けDIY勉強会の実施。		◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 専属相談員による住宅相談窓口の設置。		◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会の開催。施主の不安を解消する維持管理法を検討する。		◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局スタッフやグループ内設計者を活用し、総合的な維持管理法を検討する。		○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて引き継ぎ代行工務店の斡旋。		◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵担保保険会社に交渉し、勉強会を企画する。		○
その他	事務局は一般施主からの総合窓口とし、専属スタッフが相談に当たる。		◎
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上			
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良建築現場を活用した施工勉強会の開催。		◎
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型においても劣化対策等級2相当以上とする。		◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局専属スタッフまたは提携設計者による確認。		◎
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 杉 桧材に関して地域材活用の需給見込みを策定し、生産調整を行う。		◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年の省エネ基準義務化に備え勉強会を開催する。		◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内設計者による外皮一次エネルギー計算等の工務店への技術的支援を行う。		◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 26 今年度の参加目標人数 5		◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 10		◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店に事務局より講習会の案内斡旋を行う。		◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 自然素材を中心とした仕上げ材の使用検討。		○
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の木材加工業者を中心とした、地域材の内外装材や家具材などの新商品開発。		○
その他	特になし		
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) いわきの家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 茨城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いわき家ナビ	(結成年) 2008年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0227-0133	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	当社は被災地であり、原発事故の影響により風評被害に苦しむ福島県の地域材を積極的に活用する。また主要構造材は出荷毎に放射線検査を実施し、検査表を施主へ提示する。またグループ内基準値に合致しないものは出荷停止とする。(自主安全基準値1 Bq/cm2=250CPM) 地域材を主要構造材、内外装材 家具等に活用した安価で高性能なモデルプランを作成する。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) いわきの家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 茨城県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) いわき家ナビ	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0227-0133	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴                  ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。                  ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p>いわき家ナビでは住宅の高断熱化を行い、太陽光発電等の設備に頼る割合をできるだけ少なく住まいの省エネと快適性を高い次元で両立させる住宅を提案します。</p> <p>高度省エネ型及び優良建築物型 (非住宅) 共通 (例)</p> <p>冬季日射取得の強化: 冬でも比較的日射の多い地域特性を生かし、冬季の暖房負荷を少なくする為に、南面の開口はできるだけ大きく計画、日射熱の取得に努める。                  高効率給湯器の設置。                  LED証明の使用。                  高効率エアコンの設置。BELS認証の取得。</p> <p>ゼロエネルギー住宅の仕様 (例)</p> <p>目標とする断熱性能: Ua値0.4~0.58W/m<sup>2</sup>K程度の基準値を超える高い断熱性能。                  断熱工事の強化: グラスウールの充填断熱工法+外張り付加断熱。                  開口部の強化: 樹脂サッシまたは木製サッシの使用。開口部の断熱性能の強化を図る。                  換気の強化: 熱交換率90%以上の熱交換換気扇を採用し、換気による熱ロスを最小に抑える。                  夏季の日射対策: 南面の大きな開口には、外付けブラインド又はロールスクリーン等を設置し、日射を遮蔽し室温の上昇を抑えます。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。